



第41期 中間事業報告書

2022年6月1日から2022年11月30日まで

WOOD FRIENDS

Contents

株主の皆さまへ	2
Topics.....	3
事業のご紹介.....	4
営業の概況.....	5
セグメント別業績の概況.....	6
連結財務ハイライト.....	7
連結決算の概要.....	8
株式の状況.....	9
会社の概要.....	10

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ご清祥のことお慶び申し上げます。

当社第41期第2四半期連結累計期間（2022年6月1日から2022年11月30日）の事業概要をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計連結期間における経済状況は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立により正常化が進む中、緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方で、世界的な金融引締め等を背景とした海外経済の下振れ、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等に十分注意する必要があるなど、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

一方、東海エリアの住宅・不動産業界においては、住宅価格の上昇に加え、相次ぐ生活必需品やエネルギーコストの上昇等により、消費者の住宅取得に対するマインドには陰りが見え始めており、事業環境の厳しさは強まる状況となっております。

このような状況下、東海エリアにおけるシェア拡大に向け用地取得に注力し、従来の建売分譲に加え「商品住宅」を活かした売建・注文住宅市場への積極展開を図ってまいりました。そして、「住みかえSHOP」の店舗網を拡充し顧客接点の強化を図るなど積極的な営業施策に取り組んでまいりました。その結果、住宅事業の売上戸数としては、過去最高の541戸を達成することが出来ました。

余暇事業においては、名古屋港ゴルフ倶楽部はこれまでの運営が評価され、2022年11月15日付で次期指定管理者としての決定を受ける事が出来ました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を直接的に受けた HOTEL WOOD 高山は、国内需要を喚起しながらインバウンド需要を積極的に取り込むことで、徐々に稼働率が向上し明るい兆しが見えてきております。

当社が進めております『グリーン・IT・グローバル』をテーマとした木質資源カスケード事業の推進は、カーボンニュートラルそのものであり、今の社会背景・時代に合致しているビジョンであると考えております。

そのビジョンのもと生み出された商品によってお客様に感動を届け、経済的にも成長していきたいと強く思っております。

株主の皆さまにおかれましては、これまでと変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2023年1月
代表取締役 林 知秀

自然素材をまとうエシカルな暮らし～「地球世代」モデルハウス・オープン

「地球世代」モデルハウスは、地球品質をテーマに住む人のことはもちろん地球環境にも配慮した商品住宅として、2022年11月26日名古屋市守山区にオープンいたしました。

日本人の中に息づく自然観や美意識から考えられたデザインは、普遍性を持ちながらも、常に新しさを失わないものです。人工的な装飾で過度に飾るのではなく、自然素材のありのままを大切に、住む人それぞれの感性や価値観にあったミニマルなライフスタイルを実現します。

「地球世代」は、現代の技術と当社の工業力を用い、日本古来の伝統工法や国産材に新たな価値と感動をデザインすることにより、私たちの暮らしを未来へとつなげていくサステナブルな住宅です。



「地球世代」モデルハウス



売建・注文住宅市場への積極展開

東海エリアにおけるシェア拡大、愛知県の戸建分譲住宅市場でのトップシェア獲得に向け用地取得に注力してまいりましたが、同時に、商品住宅のラインアップ・全6種類～style:N, style:U, style:P, style:F, 新家族, 地球世代～を中心として、売建・注文住宅市場への積極展開を図ってまいりました。

豊富な土地情報とプロの提案による規格提案型商品住宅により、希望のエリアでこだわり・要望を反映させた住まいをリーズナブルな価格でお買い求め頂けるため受注棟数も伸びております。

HOTEL WOOD高山～オリジナル地酒「上二（かみに）」販売

高山での思い出を持ち帰っていただきたいという想いから、オリジナル日本酒「上二（かみに）」の販売を開始しました。

HOTEL WOOD高山では、高山の文化や地元産業を体験できる酒蔵見学ツアーなどを企画してまいりました。

特にラウンジスペースの利酒サービスでは、このオリジナル日本酒販売も相まって、より多くのお客様に喜ばれております。

現在は規制緩和などでインバウンド需要と国内需要が回復基調となっており、今後さらなる活況が期待されます。



オリジナル日本酒「上二（かみに）」

事業のご紹介

住宅事業

分譲住宅事業

デザイナーの感覚と設計から岐阜工場での部材生産までが規格化・工業化された合理的な生産システムにより、安定した品質とコストパフォーマンスに優れた住まいを提供しています。



分譲住宅（愛知県東郷町）

商品住宅事業

商品訴求と価格訴求をさらに深掘りしたWEBサイトにより「製造小売り」体制を深化させ、土地仕入れ能力を活かした豊富な土地情報と、累計12,000戸の実績に裏付けされた技術・ノウハウを活かす多様なプランからお選びいただくことができる新しいタイプの規格型注文住宅を提供しています。

建設資材事業

岐阜工場が担当する柱・横架材・羽柄材のプレカット加工や集成材の生産、また木製外壁材・WALL WOODや木製サッシ・WINDOW WOODなどの木質建材の開発・製造については、自社で生産する戸建住宅での使用にとどまらず、工務店・プレカットメーカー・商社等へ販路を拡大し、売上・収益の向上を目指してまいります。

余暇事業

ゴルフ事業



名古屋港ゴルフ倶楽部



愛知県初のPFI事業（愛知県森林公園ゴルフ場施設整備等事業）の指定管理者として、2007年4月よりウッドフレンズ森林公園ゴルフ場を運営しています。また、2011年4月から愛知県森林公園、

2018年4月からはウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部の指定管理者にも選定され運営を行っています。今後は、ここで得た知見・事業ノウハウを活かし、シナジー効果の得られる事業展開を検討してまいります。

ホテル事業

住宅事業で培ってきた独自の木造建築デザインやノウハウを活かし、年々需要が高まるインバウンド需要を見据え、岐阜県高山市に日本の精神文化「ZEN(禅)」の思想を基本とした木造ホテルを建設・運営しております。普段の日本の暮らしを体感し、高山の地域文化に触れることができる「特別な旅」を提供させていただいております。

営業の概況

営業の経過および成果

①当地域の不動産業界

愛知県の地価調査では、平均変動率が住宅地は1.5%、商業地では2.3%の上昇となりました。当第2四半期連結累計期間である2022年6月から2022年11月における愛知県の新設住宅着工戸数は前年比で減少しているものの、建設資材価格高騰による販売価格の上昇やインフレによる消費者の購入マインドの低下により、住宅市場全体での契約率が低下するなど、販売競争は依然激化しております。

②当社の取り組み

- ・東海エリアにおけるシェア拡大に向け、用地取得に注力し、また建売分譲のみならず、当社の強みである「商品住宅」を活かし売建・注文住宅市場への積極展開を図ってまいりました。
- ・「住みかえSHOP」の店舗拡充を進め顧客接点を強化するとともに、細やかなサービスの提供や地域のニーズに寄り添った商品の開発を行い、顧客満足度の向上に努めております。
- ・2023年4月1日には三河エリアの旗艦店として刈谷市にモデルハウス併設型の「住みかえSHOP刈谷店」をオープンさせ、以降も愛知県全域で「住みかえSHOP」店舗網の拡充を図る計画を進めております。
- ・地球品質・サステナブルデザイン」をコンセプトとした新商品「地球世代」モデルハウスを名古屋市守山区にオープンいたしました。地球環境に配慮した商品提供を行うことにより、未来に繋がる社会の実現に向けて取り組んでおります。
- ・長期優良住宅認定及び太陽光発電システムを搭載したZEH住宅の販売を開始いたしました。高性能な住宅をリーズナブルな価格で提供することにより、戸建住宅市場でのシェア拡大を目指します。
- ・HOTEL WOOD高山にて、高山の文化や地元産業を体験できる酒蔵見学等のツアーを開催しております。ラウンジスペースでの利酒サービスは多くのお客様にご好評いただいており、また、高山での思い出を持ち帰っていただきたいという想いから、オリジナル地酒「上二」の販売を開始しました。

③環境への取り組み

当社は「環境への取り組み」を企業の継続的な発展生存のテーマと位置付け、「木質資源カスケード事業」を軸に、国産木資源の積極的な利用を推進しております。現在は、原木の安定的かつ持続可能な供給体制の確立に向けて、森林の確保、森林管理の外部アライアンスの構築に向けて動いております。

④当期の業績

〈連結業績〉

	売上高	営業利益	経常利益又は 経常損失(△)	親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)
当第2四半期実績	22,588百万円	256百万円	△63百万円	△99百万円
前年同期実績	22,172百万円	1,322百万円	1,193百万円	843百万円
前年同期比	1.8%増	80.6%減	—	—

	販売戸数	内 訳	
		戸建住宅	集合住宅
当第2四半期実績	541戸	527戸	1棟14戸
前年同期実績	531戸	531戸	—
前期実績(通期)	1,004戸	1,004戸	—

〈セグメントの実績〉

a 住宅事業・・・戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	20,608百万円	330百万円	売上高は微減だが、建設資材価格の高騰により利益が減少。
前年同期比	1.2%減	77.7%減	

b 余暇事業・・・ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	1,279百万円	290百万円	ゴルフ場運営が堅調に推移したことに加え、ホテルの宿泊客増加等により、売上高及び利益が増加。
前年同期比	10.1%増	15.8%増	

c 都市事業・・・収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

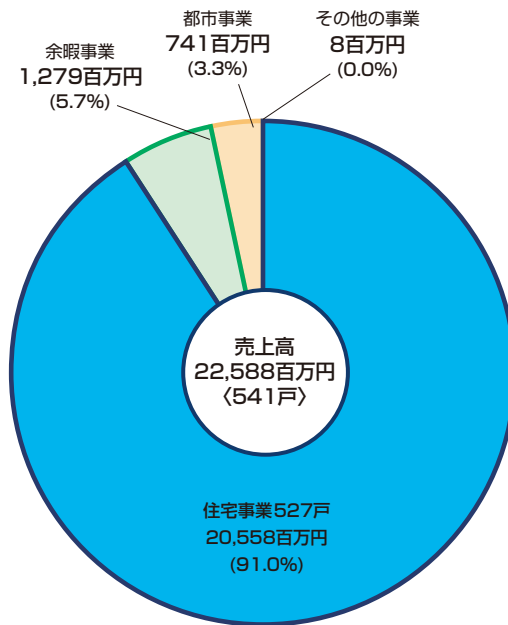
	売上高	セグメント損失	前年同期比の主因
当第2四半期実績	770百万円	25百万円	収益不動産の販売により、売上高が増加。
前年同期比	312.2%増	—	

d その他の事業・・・上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	8百万円	4百万円	—
前年同期比	0.0%増	7.4%増	

セグメント別業績の概況

セグメント別売上構成

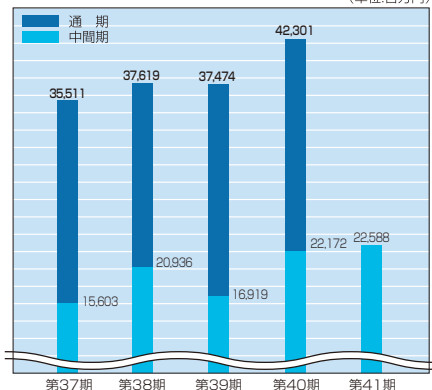


(注) 1. セグメント別売上高は、セグメント間の内部取引高を消去して表示しています。

連結財務ハイライト

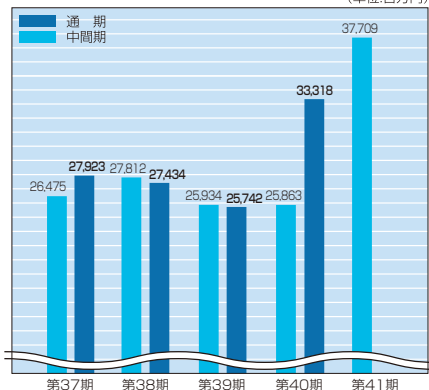
売上高

(単位:百万円)



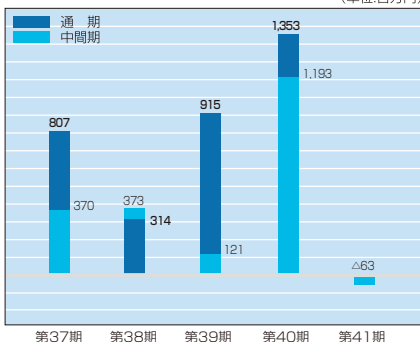
総資産

(単位:百万円)



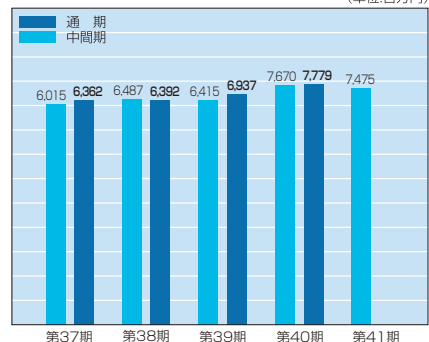
経常利益

(単位:百万円)



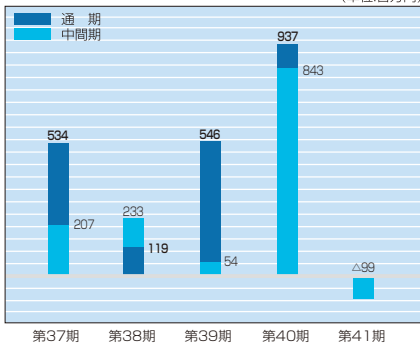
純資産

(単位:百万円)



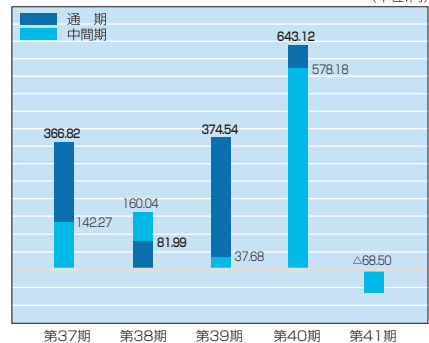
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



連結決算の概要

連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度末 (2022年5月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (2022年11月30日現在)
	金 額	金 額
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,692,398	4,514,584
完成工事未収入金及び売掛金	562,598	455,377
たな卸資産	21,845,733	26,193,437
その他	1,024,024	1,003,346
流動資産合計	28,124,754	32,166,749
固定資産		
有形固定資産	4,434,701	4,684,410
無形固定資産	101,832	140,339
投資その他の資産	657,628	718,395
固定資産合計	5,194,162	5,543,146
資産合計	33,318,917	37,709,895

負債の部

流動負債

工事未払金及び買掛金	4,092,994	3,496,963
短期借入金※	13,241,227	19,687,891
未払法人税等	233,177	65,598
その他	1,896,160	1,182,752
流動負債合計	19,463,559	24,433,209
固定負債		
社債	1,575,600	1,292,900
長期借入金	3,018,835	3,027,757
その他	1,468,906	1,480,562
固定負債合計	6,063,342	5,801,220
負債合計	25,526,902	30,234,429

純資産の部

株主資本

資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	6,772,992	6,438,359
自己株式	△ 42,195	△ 42,195
株主資本合計	7,294,879	6,960,245
その他の包括利益累計額	377	1,691
少数株主持分	484,421	513,528
純資産合計	7,779,677	7,475,465
負債・純資産合計	33,306,579	37,709,895

※1年内返済予定の長期借入金を含めて表示しています。

連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年 6月 1日 至2021年11月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年 6月 1日 至2022年11月30日)
	金 額	金 額
売上高	22,172,357	22,588,067
売上原価	18,896,000	20,182,764
売上総利益	3,276,357	2,405,303
販売費及び一般管理費	1,953,534	2,148,784
営業利益	1,322,822	256,519
営業外収益	24,924	34,475
営業外費用	154,053	354,531
経常利益	1,193,692	△ 63,537
特別利益	-	9
特別損失	81,350	688
税金等調整前当期純利益	1,112,342	△ 64,216
法人税等※	244,255	6,557
当期純利益	868,087	△ 70,774
非支配株主に帰属する当期純利益	25,007	29,107
親会社株主に帰属する当期純利益	843,079	△ 99,881

※法人税等調整額を含めて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年 6月 1日 至2021年11月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年 6月 1日 至2022年11月30日)
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,303,537	△4,868,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 375,646	△566,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,000,522	5,256,030
現金及び現金同等物の増減額	△ 72,630	△178,514
現金及び現金同等物の期首残高	4,264,737	4,684,294
現金及び現金同等物の期末残高	4,192,107	4,505,780

連結対象子会社（4社）

会社名	主な事業内容
森林公園 ゴルフ場運営 株式会社	ゴルフ場サービスの提供
株式会社 リアルウッド マーケティング	不動産の仲介・分譲住宅の 販売代理・損害保険代理店業
株式会社 プロバティウッド	ビルメンテナンス
株式会社 フォレストノート	建設資材の製造・販売

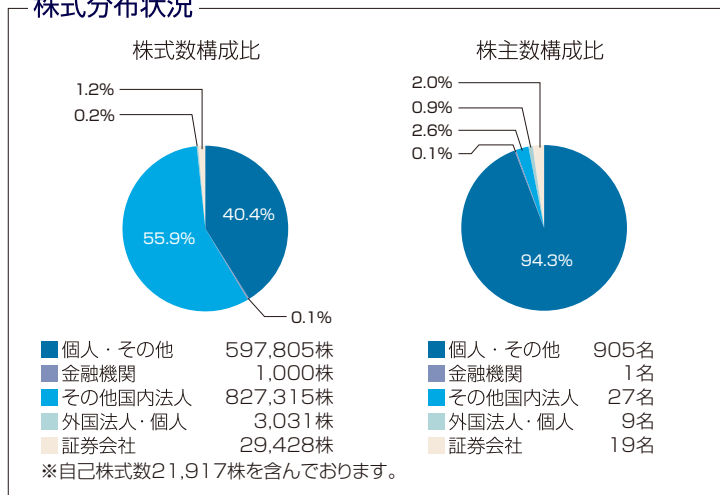
株式の状況

会社が発行する株式の総数…………… 4,800,000株
 発行済株式の総数(自己株式を含む)…………… 1,480,000株
 株主数…………… 960名

大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
ベストフレンズ有限会社	616,200	42.2
株式会社東邦レオホールディングス	120,000	8.2
前 田 和 彦	44,200	3.0
前 田 扶 美 子	44,200	3.0
橘 俊 夫	44,100	3.0
松 岡 明	44,000	3.0
柴 田 労	40,000	2.7
林 知 秀	40,000	2.7
橘 か お り	23,500	1.6
一般財団法人レオ財団	23,500	1.6

株式分布状況



会社の概要

商号 株式会社ウッドフレンズ
設立 1982年11月26日
資本金 279,125,000 円
社員数 189名(連結290名) ※()内は連結会社を含む社員数
※2022年11月30日現在
本社 〒460-0008
名古屋市中区栄四丁目5番3号 KDX名古屋栄ビル2F
TEL 052-249-3503 (代表)
FAX 052-249-4267

主要な事業所 名古屋東展示場
名古屋市守山区大字下志段味字廻間145番地7
豊橋支店
豊橋市大橋通一丁目68番地 静銀ニッセイ豊橋ビル2階
HOTEL WOOD 高山
岐阜県高山市上二之町80-2
岐阜支店
岐阜県養老郡養老町飯田字島下933番2号
岐阜工場 (株式会社フォレストノート)
岐阜県養老郡養老町大坪15番地1

子会社 森林公園ゴルフ場運営株式会社 株式会社リアルウッドマーケティング
株式会社プロパティウッド 株式会社フォレストノート

役員構成 代表取締役 会長 前田 和彦
最高経営責任者
(森林公園ゴルフ場運営株式会社 代表取締役)
代表取締役 社長 林 知秀
代表執行役員
(株式会社プロパティウッド 代表取締役)
取締役 加藤 猛雄
(株式会社フォレストノート 代表取締役)注
社外取締役 小笠原 剛
取締役 伊藤 嘉浩
(監査等委員)
社外取締役 片桐 正博
(監査等委員)
社外取締役 三輪 勝年
(監査等委員)
執行役員 笹原 利明
執行役員 池田 豪
執行役員 山田 修
執行役員 平嶋 豊三
執行役員 春日 隆

株式会社リアルウッドマーケティング
代表取締役 山田 大輔

注) 2023年1月16日付の株式会社
フォレストノート取締役会において、
代表取締役の異動が決議されて
おります。

新任
氏名: 池田 豪 (イケダ ツヨシ)
新役職名: 株式会社フォレストノート
代表取締役
旧役職名: 株式会社ウッドフレンズ・
執行役員

取引銀行 愛知銀行 愛知県信用農業協同組合連合会
愛知信用金庫 いちい信用金庫
伊予銀行 大垣共立銀行
蒲郡信用金庫 関西みらい銀行
岐阜信用金庫 三十三銀行
十六銀行 商工組合中央金庫
瀬戸信用金庫 第四北越銀行
高山信用金庫 知多信用金庫
中京銀行 東濃信用金庫
豊田信用金庫 名古屋銀行
日本政策投資銀行 八十二銀行
飛騨信用組合 百五銀行
百十四銀行 広島銀行
碧海信用金庫 北陸銀行
みずほ銀行 三井住友銀行
三井住友信託銀行 三菱UFJ銀行
りそな銀行 (五十音順)

事業許可番号 特定建設業
愛知県知事許可(特-3)第40178号
宅地建物取引業
国土交通大臣免許(第)6013号
一級建築士事務所
愛知県知事登録(い-2)第5644号

株主メモ

事業年度 6月1日から翌年5月31日まで

配当金受領株主確定日 5月31日

なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
11月30日といたします。

定時株主総会 8月

公告方法 電子公告

ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由
が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告のホームページアドレス
<http://www.woodfriends.co.jp/ir/e-public-notice.html>

貸借対照表掲載のホームページアドレス
<http://www.woodfriends.co.jp/ir/settlement-accounts/>

会計監査人 監査法人 東海会計社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233
(特別口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び
全国各支店で行っております。

(お知らせ)

●住所変更等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 **ウッドフレンズ**

本 社 名古屋市中区栄四丁目5番3号

KDX名古屋ビル2F

TEL 052-249-3503(代表)

URL <http://www.woodfriends.co.jp>